

## 下呂農林事務所の普及活動状況 令和7年1月31日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■令和6年度新規就農者 清流の国ぎふ農業担い手証書授与式を開催

県では「新・担い手育成プロジェクト」を進めており、新たな担い手の士気を高め、早期に営農定着・経営発展を図るために、清流の国ぎふ農業担い手証書を交付しています。

下呂市では、就農研修拠点「飛騨トマト研修農園in下呂」の取組みにより継続的に新規就農者が増加しています。令和6年度は新たに5名の研修生が就農し、下呂市蔬菜出荷組合トマト部会の一員となって無事一年目の夏秋トマト生産を終えました。



【担い手証書を受け取った新規就農者ら】

1月15日、1年目の新規就農者を参集し、下呂農林事務所内で令和6年度清流の国ぎふ農業担い手証書授与式を開催しました。

初めに、下呂農林事務所長から今年度に新規就農した5名に担い手証書と記念品が授与されました。その後、新規就農者から1年を振り返っての反省点や今後の抱負などを含めた自己紹介をしてもらい、出席者と意見交換を行いました。

新規就農者からは、「良い環境に移住出来て良かった。」「関係機関や地域の人のお陰で1年を乗り越えられた。」「研修どおりにはかず苦労や反省も多かったが、今後活かして事業拡大したい。」などの発言があり、活発な意見交換となりました。

農業普及課では、今後も農業研修生や新規就農者に寄り添い、栽培技術や農業経営などの助言、指導を行い、早期の営農定着に向け支援を行っていきます。  
(地域支援係)

#### ■認定新規就農者 就農状況確認と次年度に向けた個人面談を実施

今年度、下呂地域では20名の認定新規就農者が夏秋トマト栽培に取り組んでおり、4月からは新たに2名がトマト栽培を開始します。

農業普及課では、1月6日から17日までの間、下呂市内のJAひだの各集出荷施設において、新規就農者らを参集し、JA益田営農センターと下呂市農務課の担当者とともに、就農状況確認と個人面談を行いました。

個人面談では、各生産者の就農計画の進捗状況や決算書などを関係機関と共有した上で、今年度のトマト栽培と農業経営の反省点、課題、次年度の目標についての聞き取りを行い、目標達成に向けての助言や指導を行いました。また、4月から就農する長期研修生に対しては、トマト栽培と農業経営についての基本事項の確認を行いました。



【個人面談の様子】

出席した生産者からは、土壌診断結果の見方、土壌改良資材の投入量、植え付けする株間や台木品種の選定、使用する資材などについて多くの質問や相談があり、次年度の目標に向かう強い思いが感じられました。

農業普及課では、今後も関係機関と連携し、各生産者が抱える課題の解決と農業経営の発展に向け伴走支援を行っていきます。  
(地域支援係)

## 安心して身近な「ぎふの食」づくり

### ■ほうれんそう部会 来年度の作付けに向けた個人面談を実施

1月19日、ほうれんそうの生産者2名を対象に、JAひだの営農指導員とともに、来年度の作付けに向けた個人面談を行いました。

個人面談では、今年度の栽培の反省点、土壌診断結果に基づき、来年度の栽培管理について助言を行いました。また、農業普及課からは、部会役員に対して、来年度一部の生産者を対象に試験導入する営農支援アプリについての説明を行い、試験への積極的な参加を促しました。

農業普及課では、今後もJAの営農指導員と連携し、生産者の売上が向上するよう栽培指導を行っていきます。



【個人面談の様子】

(地域支援係)